

# 令和3年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>①SSHの取組を充実させ、文理に関わらない問題解決能力の育成を図る。</li> <li>②令和4年度から年次進行で始まる新教育課程に向けて、生徒に最適な教育課程の編成を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新型コロナウイルス感染症に関連した対応に関する各種ガイドラインに臨機応変に対応し、授業時間数の確保と学習計画の最適化を図る。</li> <li>②新学習指導要領及び大学入学者選抜改革に対応する学習内容および学習計画の検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①Teams等を活用した動画配信による補習や自宅学習の充実を追求していく。</li> <li>②生徒による授業評価や大学入学共通テストの分析結果を活用し、生徒の進路実現に向けた組織的な授業改善を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①Teams等を活用した課題や授業動画の発信、双方向授業の可能性の追求とその実施状況。</li> <li>②新学習指導要領及び大学入学者選抜改革に対応した教育課程、学習指導計画を策定できたか。</li> </ul>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒主体の生徒会活動を継続し、社会に貢献できる人材の育成を図る。</li> <li>②前4年間で構築した教育相談体制をさらに発展させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①昨年度、規模縮小や中止となった行事について一昨年度の実施状況を踏まえ、3学年を中心とした伝統の継承に必要な支援を行う。</li> <li>②支援を必要とする生徒に対して組織的に支援する意識を更に高めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各行事の代表生徒と連携し、計画的かつ安全な運営にする。</li> <li>②気になる会議やいじめアンケートを通して情報の共有を密にし、効果的な手立てを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①計画に基づいた安全な教科外活動を実施することができたか。</li> <li>②会議が有効に機能し、組織的に支援ができたか。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学習活動やSSHの取組をリンクさせ、大学入学者選抜改革に対応した進路支援体制を構築する。</li> <li>②自分の将来を見据え、妥協のない進路選択ができるよう、個別指導を充実する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒個々の指導に加えて、クラス指導・学年指導の量と質を向上する。</li> <li>②質の高いキャリア教育をめざして、進路指導計画の見直しと質の向上をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①模試の分析結果を学年団で共有するとともに、生徒向けにも分析会を実施し、自らの進路を考えるきっかけにする。</li> <li>②コロナ禍で実施可能な進路指導計画を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①模試結果の分析会により、自分の進路について定期的に考えるきっかけになったか。</li> <li>②様々なコンテンツを利用した進路指導を実施できたか。</li> </ul>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>①家庭や地域、同窓会等の協働を進め、開かれた学校作りの更なる発展を進める。</li> <li>②SSHの活動において他の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校運営協議会及び各部会の活動を活性化させていく。</li> <li>②SSHの取組について、HP等を通じて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校運営協議会での熟議に努めるとともに学校評価部会以外の部会を設置し、その活動を推進していく。</li> <li>②HPや学校説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校運営協議会や学校評価部会を含めた各部会の設置状況と開催回数、活動内容。</li> <li>②学校説明会の開催回数や個別見</li> </ul>

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
		教育機関や地域との連携を進め、コンソーシアムの構築を進める。	広く情報発信していく。	会、個別見学等で、SSHの取組など本校の教育課程の特色を伝えていく。	学への参加人数。SSHの取組をHPに掲載したか。
5	学校管理 学校運営	<p>①働き方改革に向けて、コミュニケーションツールの活用など業務の効率化を図る。</p> <p>②社会から新たに要求される様々な教育ニーズに対応できる教員指導力の向上を目指す。</p>	<p>①Teams などコラボレーションプラットフォームの活用 の 定着 を 図 り、 会 議 の 時 間 短 縮 を 図 る。</p> <p>②クラウド上にデータを保存することにより、円滑な業務遂行を実現する。</p>	<p>①Teams による職員会議を実施し、ペーパーレス化を図るとともに、放課後の会議時間短縮に努める。</p> <p>②重要情報管理システムとクラウド上のデータ保存を分かりやすく分割し、円滑に業務ができるよう努める。</p> <p>③会計処理ルールを徹底し、事故を防ぐ。</p>	<p>①Teams による会議の回数と会議の終了時間。</p> <p>②データ保存に関する職員への周知と理解度。</p>